

あやテラス・子育て交流センター

愛称は「あやっこひろば」

あやテラス内の子育て交流センターの愛称は、誰でも気軽に遊びに行ける、子育て世代が集える「ひろば」になるようにという願いを込め「あやっこひろば」としました。11月24日に市民を対象とした内覧会を、25日には楽しい催しが盛りだくさんの「あやテラス」オープニングイベントを予定しています。

内覧会

11月24日(金)
午前10時～午後3時

オープニングイベント

11月25日(土)
午前10時～午後6時

あやっこひろば (子育て交流センター)

・乳幼児向け遊具の体験

図書館

・人形劇、0～2歳児向けおはなし会、折り紙屋さん、雑誌の付録抽選会など！

ホール (地域交流センター)

・市内4つの地域子育て支援センターが実施する「ほっとランド」子育て応援フリーマーケット、ステージイベント、店舗出店など

屋外には、キッチンカーや大型遊具が登場！

Bewater 水になれ

今夏は地球全体が沸騰せんばかりの猛暑で、思わず全身に水をかぶりたくもなったが、この言葉は稀代のアクシオンスター、ブルース・リーの好んだ表現。元々は「上善如水（最高）の善は水の如し」という「老子」の一節のようでありが愛読したという宮本武蔵の『五輪書』とも相通じる。香港の民主化デモにおいても自由を求める若者たちの精神的支柱としてスローガン化していった。

水はコップに注げばコップの形になり、ボトルに注げばボトルの形になる。自在に動きながら、時に破壊的な力を持つ。一滴からいずれば海になるし、気体にも固体にも姿を変える。無色なのに青く深淵に映ることもある。転じて、



特定のイデオロギーに縛られることなく「臨機応変、変幻自在に生きよ」と論じている。

いつの世においても時々の課題はあるが、近年発生する事象には「前代未聞」とか「未曾有」「想定外」といった修飾語の付くことが多く、ロシアの侵攻等のほか、急激な人口減少と少子高齢化、そして地方の過疎化など未だ経験したことのない深刻な社会問題が山積している。地球温暖化の原因とされる環境問題も待ったなしだ。そんな不確実性・複雑性を極める時代において、我々はどんな心構えが求められるであろうか。大上段に構えるつもりはないが、ブルース・リーの言葉には学ぶべき点が多い。考え方はシンプルに。争い事には公平、寛大に。政治はコントロールしようと思わず、仕事は喜びとすることをする。何よりも今を精一杯に生きる。他人と競うことなく生きていくこと。型を捨て、形をなくせ。そして心を空(くう)にせよ。考えるな、感じよ。

Bewater, my friend! ー友よ、水になれ！

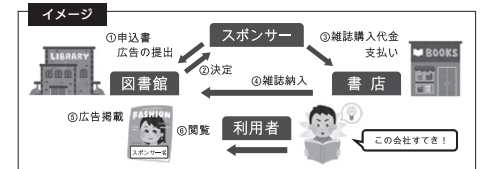
山崎善也(綾部市長)

雑誌 スポンサー 募集中!

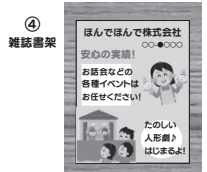
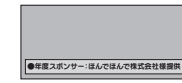
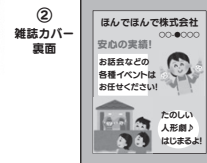
年間延べ4万2千人が来館!
雑誌の貸出は
年間約5,500回!

雑誌スポンサー制度とは?

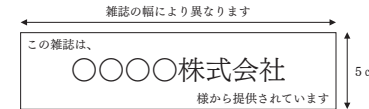
雑誌の年間購入代金を負担していただくことで、その雑誌の最新号・バックナンバー、書架の計4カ所に企業名や広告を掲載し、図書館利用者にPRができる制度です。



広告掲示イメージ



①【図書館が作成】



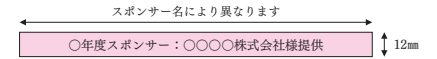
雑誌棚にも広告を掲示。スポンサーになった雑誌が貸し出し中でも常にPRできます!

②④【スポンサーが作成】

- ・広告枠内はスポンサーに作成してもらいます
- ・広告枠の大きさは選択した雑誌のサイズにより異なります(最大A4サイズ)

③【図書館が作成】

- ・背景色は図書館で決定(毎月異なる場合もあります)



募集対象

- ・企業や個人事業主、団体など

広告期間

- ・スポンサーとして決定した翌月から掲示開始
- ※今年度は最短で11月
- ・各年度4月1日～3月31日までの1年間
- ・年度途中の応募はその年度の3月31日まで

申し込み

- ・郵送か持参で▽綾部市図書館雑誌スポンサー申込書▽申込書に添付する書類▽広告原稿、会社概要等(業種が分かるもの)一を市図書館へ

対象雑誌

- ・図書館が作成した雑誌リスト(50タイトル)から選んでください。リストは図書館窓口のほか、図書館ホームページからも閲覧可能。リストにない雑誌を希望する場合はご相談ください
- ・何誌でも申し込みできます
- ・先着順。既にスポンサーがついている雑誌は選べません
- ・増刊号は対象外です

スポンサー経費

- ・対象雑誌の年間購入代金、広告作成に係るすべての費用

<問い合わせ> 図書館 〒623-0011 綾部市青野町西馬場下35番地の1

☎(42)6980 📠(42)4570 メール shakaikyoku@city.ayabe.lg.jp



秋の名物イベント多彩に

あやべ産業まつり（同まつり実行委主催）が10月1日、あやべ特産館前広場（青野町）とあやべ・日東精工アリーナ（市民センター、西町三丁目）の2会場で開催。地元農産物や農産加工品、地元事業所の製品販売等のほか、リサイクル・リユースマーケット、綾部工業団地や消費生活にまつわるPRなど、多くの出展でにぎわいました。万願寺とうがらし詰め放題競争に参加した中筋小学校4年生の藤田彩加さんは「1番になってびっくり。難しかったけど上手に詰めることができうれしかった」と笑顔でした。

てつじさんが一日署長で啓発活動



秋の全国交通安全運動に合わせ、あやべ地域交流大使のシャンプーハットてつじさんが9月27日、綾部警察署の一日署長を務めました。てつじさんは、中筋小学校での交通安全教室のほか、スーパーでの交通安全啓発グッズの配布などを実施。交通事故防止や自転車のヘルメット着用などを呼び掛けました。最後に「地域に密着して活動する人が選ばれる一日署長。念願だったのでうれしい。交通ルールを守って交通事故を防止しましょう」と話しました。

伝統工芸と科学が融合

市は9月23日、北部産業創造センター（青野町）で「サイエンス・ラボwith黒谷和紙」を開催しました。第一部は、人気ユーチューバー市岡元気さんのサイエンスライブを実施。参加した親子100人が、目の前で繰り広げられる科学実験で大いに盛り上がりました。第二部では、黒谷和紙の紙すき体験と自分がすいた紙を飾ることができるプログラミングを使った電子あんどん作成に32人が参加。上林小学校5年生の生野葵君は「以前に体験した紙すきが楽しかったので今日も参加した。今から卒業証書の和紙を自分ですくのが楽しみ」と笑顔で話しました。



男女共同参画社会づくり

図画・ポスターコンクール

市は、小・中学生に男女共同参画への理解を深めてもらおうと、図画・ポスターコンクールを開催しました。応募数は小学校330点（低学年182点、高学年148点）、中学校50点の計380点。入賞者は次の皆さんです（敬称略、順不同）。

小学校低学年の部



伊藤 陸紀
（豊里小3年）



小学校高学年の部



前岡 明空（中筋小4年）

中学生の部 キャッチフレーズ賞



野間 心遥
（豊里中3年）

心を結ぼう 男女共同参画社会

- 小学生低学年の部**
 - 優秀Ⅱ梅原麻有（綾部小1年）▽竹下翔弥（豊里小3年）入賞Ⅱ野間心結（同）▽石角咲菜（志賀小2年）▽相根倫世（吉美小3年）▽四方咲希（同）▽鈴木優羽花（西八田小3年）
- 小学校高学年の部**
 - 優秀Ⅱ大治すず乃（豊里小4年）▽葉田粟子（同）入賞Ⅱ山越拓海（綾部小4年）▽加藤壮馬（中筋小4年）▽古屋莉愛（同）▽渡邊萌音（東八田小6年）▽森杏里咲（上林小5年）
- 中学生の部**
 - 優秀Ⅱ工藤灯世（八田中3年）▽篠塚怜那（同）入賞Ⅱ大槻真輝（豊里中3年）▽戸島朱璃愛（同）▽河北梨帆（河北中3年）▽松宮結奈（同）▽能勢望（八田中3年）
- 入賞作品は10月28日（土）の「あいセンター講座」で表彰し、同日（31日）火、あいセンター交流室（西町一丁目、I・Tビル5階）で展示します。



私たちの心のふるさと、あやべ水源の里。その活動を順に紹介しながら、集落の元気のヒミツや日々の生活を楽しく暮らすコツを探ります。

水源の里・古屋



多くのボランティアと写真に納まる代表の渡邊さん（右）とその母・ふじ子さん（中段右）

多くの人に支えられて

「大好きなこの土地を、絶対に廃村にしたいくない」と思い、活動を続けてきたと語るのは、水源の里 古屋代表の渡邊和重さん。

現在2世帯3人の集落は、府内でも最小です。水源の里に加入した平成18年、6世帯7人だった古屋は限界集落として全国で注目され、学術研究や観光、後に発足した住民の生活を支援する組織「古屋でがんばろう会（秋山道男・当時会長）」などのボランティア活動に、現在では年間3000人が集落を訪れます。

古屋では集落に群生する800本を超すトチノキからトチの実を収穫。トチもちやおかき、あられ、クッキーなどに加工し販売しています。渡邊さんは「おばあちゃんの味として愛されてきた。今はJTアーン者が引き継いで生産してくれている。集落の未来に希望を託すことができている」と話しました。



ボランティア参加者にもまれるトチもちせんざい、トチのかずかな苦みと優しい甘さが特徴

環境コラム

置き配バッグで再配達を減らそう！

置き配バッグとは、留守中でも宅配物を受け取ることができる、かさばらない簡易的な袋のこと。再配達を減らすだけではない、活用メリットを紹介します。

いつでも受け取り可能

置き配バッグは、通信販売などの配達物が届いた際、留守中や手が離せない場合でも、玄関先などでの収納により非対面で受け取りが完了します。手間がかからず、スペースのない場所でも設置可能。バッグには、撥水加工が施されたものや盗難防止の鍵、ワイヤー付きのものが販売されており、安心して利用できます。

CO2排出削減に貢献

置き配バッグの使用は再配達の抑制、配達員の負担軽減や燃料消費に伴うCO2排出の削減にもつながります。

令和4年4月、綾部市環境市民会議は200世帯を対象に置き配



昨年度、環境市民会議がモニター事業で配布した置き配バッグ

バッグのモニター事業を実施しました。調査報告によると、置き配バッグの使用で、約73%の再配達削減につながり、CO2排出削減量は約81%となることが判明しました。

置き配バッグを設置すれば、行動や時間に縛られず荷物を受け取れる上に、地球環境の保全にも貢献できます。あなたも活用してみませんか。

シリーズ 人権を考える

⑱ 第1回人権を考えるセミナー

「ヤングケアラーを知っていますか？」

～現状と支援への視点～

立命館大学産業社会学部教授 齋藤 真緒さん

夢を諦めるヤングケアラーの現状

市教育委員会は8月31日、中央公民館で第1回人権を考えるセミナーを開催しました。

講師の齋藤さんは、男性介護者にかかわる調査・研究をするなかで、子どもや若者が家族のケア（介護や世話など）を担っている実態があることに注目。手伝いは違い、ケアを「しない」選択ができないために子どもたちが自分のではないことや夢を諦めなければならぬなど、自分の人生にブレーキをかけてしまう現状が課題だと述べています。

子どもが相談しやすい環境を

「ケアラーになった子どもや若者のほとんどは、誰にも相談できない、またSOSを出せないのが実態。何でも話せる関係や場所を



つくるのが相談につながる土壌になる。そのため、地域で顔の見える関係を築いておくなど、家族以外の身近で信頼できる大人を増やすことが大切」と齋藤さんは言います。最後に「すべての人が人生のいずれかの時期に「ケア」にかかわる今、「ケア」負担」だけではなく、ケアは命を支える、なくてはならないもの。命とケアが大切にされる社会に転換していく必要がある」と話しました。

手話でつながろう

今月の手話

難しい、できない



右手2指で頬をつねるようにひねる

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

あやべっ子もぐもぐ通信

市内の全小・中学校の給食は、各学校で給食調理員が心を込めて作る自校調理方式。地域の農産物の使用や工夫を凝らした献立などで、安全・安心でおいしい給食を作っています。



9月29日(金)「お月見献立」

混ぜご飯は自分で混ぜるセルフ式。香り豊かなゴボウと旬のキノコや枝豆を使用しています。お月見汁の餅はジャガイモを原料とした芋餅を浮かべました。もちもち食感がおいしい一品です。

※写真は八田中学校。各学校の実情に応じてメニューをアレンジしています。